

# 白山道奥公園愛護会通信

## 公園に行こう!

「公園って何だろう?」と思われたことはありませんか? 「公園に行ってもやることないよね」、「蚊に刺されるんじゃないの?」、「行っても知っている人に会わないよね」、「そもそも白山道奥公園ってどこにあるの?」、..、沢山の人がこんな言葉を心に浮かべるのではないのでしょうか。かく言う筆者も以前はそんな一人でした。が、しかし、行ってみると、..、面白い!! 公園の茂みに入って耳を澄ませると、ガサゴソ、ガソゴソ、ガサゴソ。。。一体何の音でしょう。実は公園の森の中は色々な音で一杯です。鳥が飛びまわる羽の音、啄木鳥が木の幹を嘴でたたく音、何匹ものリスが枝から枝に駆け回る音、人間が来たぞ~という動物達の警告の声、そして森の木々が風と共に木の実を山肌に降り注ぐ音。普段の生活では決して耳にする事のないこんな自然の息吹が、ウッドパークに住む私達のすぐ近くに溢れているのです。

公園に出かけて、"ただ何となく"足を止めてみましょう。今まで気づかなかった色んな事を発見できるかもしれません。公園で出会った人たちみんなに気軽に声をかけてみましょう。"知らない人"が、みんな"知っている人"になるでしょう。

公園は"何かをする場所"であっても、"何もしない場所"であっても良いのです。公園は多くの人が足を向け、多くの人が言葉を交わし、多くの人が心を豊かにする場所です。白山道奥公園は豊富な自然がそのままに残る市内でも数少ない素晴らしい公園です。お一人で、またご夫婦やご家族で、公園に是非お出かけ下さい。

## 公園の花シリーズ : ヤブラン(藪蘭)

ヤブラン(藪蘭)は日本を含む東アジアに生育する百合科藪蘭属に分類される多年草で、冬でも葉が枯れずに青々としている常緑性の植物です。その名が示すように耐陰性が非常に強く、他の植物が育ちにくい樹木の陰になるような場所にも植えることが出来ます。別名を山菅(やますげ)と言い、古くは万葉集にも詠まれる馴染みの深い植物です。花言葉は「謙遜」。藪蘭の根は漢方薬としても利用されており、生薬名は大葉麦門冬(だいようばくもんどう)。煮詰めた汁を飲むと滋養、強壮、催乳、せき止めに効果があるとされています。



白山道奥公園には今が満開の原生種に加え、葉に斑の入った園芸種も階段脇に植えられています。園芸種の方はまだ花芽が出ていませんので、8月末から10月にかけてきれいな花を咲かせてくれるのではないかと期待しています。皆さんも楽しみにしててください。